

参考資料4

- 千代川水害タイムラインは、各機関が定めている防災行動計画に準じて、**水害リスクの把握、防災行動項目の整理、重点行動項目の具体化・細分化等**を行い作成されました。
 - 各機関の防災行動項目を時系列でリスト化し、**行動の抜け・漏れの防止（チェックリスト）や他機関の行動の確認が可能で、各機関の出水対応で活用**できます。
- ※千代川水害タイムラインの概要や、検討会等の過去資料は鳥取河川国道事務所HP (<https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference3/timeline.html>)をご確認ください。

The diagram is divided into two main colored sections: a light green top section and a dark green bottom section.

Top Section (Light Green):

- Relationship between Organizations (29 Organizations):** A title box at the top center.
- Left Building:** A brown building with a blue entrance and windows, surrounded by green trees.
- Right Building:** A brown building with a sign that reads "〇〇ライオン" (OO Lion) and a tall antenna tower next to it.
- Central Arrow:** A large red double-headed arrow with the word "連携" (Collaboration) written in white.

Bottom Section (Dark Green):

- Left Side (Red Box):** Contains the text "タイムラインの策定・実行により連携を強化" (Strengthening collaboration through the formulation and implementation of the timeline).
- Center:** A stack of three documents titled "災害対応計画" (Disaster Response Plan). The documents are:
 1. □□予防計画 (1. □□ Prevention Plan)
 2. △△対策計画 (2. △△ Countermeasure Plan)
 3. ○○行動計画 (3. ○○ Action Plan)
 A black silhouette of a person stands next to the documents.
- Right Side (Green Box):** Contains the text "各機関が保有している災害対応計画やマニュアル等に準じて、各機関が主体的に行動することが基本" (Basic principle: Each organization acts independently in accordance with the disaster response plan, manual, etc. owned by each organization).

- ※ 5 つのツールはポータルサイト(https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/sendai-gawa_timeline_portal/Viewer/DesktopView/)の「TLリンク」に掲載されています。

- 他の機関の対応を確認しながら、自機関の対応をチェックする場合に活用
- 行動手段・手順（第3 階層）までの詳細な対応が各機関・部署毎に時系列に整理。水害時は対応のチェックリストとして活用

②

トリガー：氾濫の発生・切迫、いずれかの水位観測所で氾濫発生水位の超過、レベル5 氾濫特別警報／レベル5 氾濫発生情報

【補足】
※ いずれかの水位観測所とは、行徳、袋河原、用瀬及び宮ノ下水位観測所である。

①	タイムラインレベル		タイムラインレベルを7段階で記載（レベル01～レベル5）
②	状況・気象情報		タイムラインレベル移行のトリガーに関する状況や気象情報を記載
③	防災 行動 項目	第1階層	大分類の行動項目の種別を記載 例) 情報収集
		第2階層	第1階層の項目を実施するにあたって行う、中分類の行動項目を記載 例) 河川情報の収集
		第3階層	第2階層の項目をより具体化・細分化した行動手段を記載 例) 水位情報の収集
④	実施状況チェック欄		クロノロジー（防災行動の時系列の記録）を記載
⑤	役割	◎	主体的に行動する機関
		○	支援または協働する機関
		発	情報を発信する機関
		収	情報を自ら収集する機関
		受	情報を受ける機関
			メーリングリストで発信する情報
			関連機関HPリンク集で収集する情報
⑥	備考		課題や改善点等を記入

- 詳細版に基づいた、参加機関毎のタイムライン
- 自機関の実施行動項目のみ記載し、時系列に沿った流れを把握することが可能

機関名： 気象庁 鳥取地方気象台																		
第1階層 (行動種別)	第2階層 (行動項目)	第3階層 (行動手段・手順)	関係機関	TL 0-1	TL 0-2	TL 1	TL 2	TL 3	TL 4	TL 5	項目実施チェック欄 (☑を記入)							備考欄
											TL 0-1	TL 0-2	TL 1	TL 2	TL 3	TL 4	TL 5	
タイムラインの 運用	タイムラインの 立ち上げ	タイムライン立ち上げのための情報収集	☎：(国)河川	☉							☐	☐	☐	☐	☐			
		☑書 タイムラインの立ち上げ・発信	発：(国)河川 受：上記機関以外の全機関	受							☐	☐	☐	☐	☐	気象台が支援を行う。		
	タイムラインレ ベルの移行	タイムラインレベル移行のための情報収集	☎：(国)河川		☉	☉	☉	☉	☉	☉	☐	☐	☐	☐	☐			
		☑書 タイムラインレベルの移行判断・発信	発：(国)河川 ☎：(国)河川 受：上記機関以外の全機関		受	○	○	○	○	○	☐	☐	☐	☐	☐	TL 0-2：気象台が支援を 行う。 TL 1以降：(国) 河川管 理課：移行の判断実施		

➤ 詳細版に基づいて、多機関で特に共有すべき行動項目を抽出

[illegible]

千代川水害タイムラインを活用した出水対応の流れ

平常時

- タイムライン運用方法を用いて、タイムラインの作成経緯やタイムラインの立上げ、レベル移行基準等を把握します。（詳細：①レベル立ち上げ、移行、引き下げのトリガーと流れ）
- 各種タイムラインを用いて、出水対応の全体像、自機関の対応、多機関で連携する対応を把握します。

タイムライン立ち上げ・レベル移行

- メーリングリストを用いて、鳥取河川国道事務所から送付される**メール**や千代川水害タイムライン**ポータルサイト**で**タイムラインレベルを確認**します。
 - 基本的には、タイムライン詳細版で実施状況をチェックしながら対応します。自機関の対応を中心に確認するときには自機関早見版を、他機関との連携部分や重要項目を確認するときには連携項目抽出版を確認します。
 - **ポータルサイト**を用いて**他機関の情報を収集**し、該当するタイムラインレベルの**防災行動項目**について、**必要な対応**をとります。（詳細：②ポータルサイト）

タイムライン解除

詳細版

✓ 主で使用
✓ 実施状況をチェック

自機関早見版

✓ 自機関の対応を確認

連携項目抽出版

✓ 他機関との連携
✓ 重要項目を確認

タイムライン解除

詳細：②ポータルサイト(https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/sendagawa_timeline_portal/index.html)

- ポータルサイトは、タイムラインの運用に関するレベル情報（タイムラインの立ち上げ、レベル移行、解除）と各機関からの情報を閲覧するためのシステムで、**情報収集の効率化**を目的として作成されました。
- ポータルサイトにはPC版とスマートフォン版があります。

千代川水害タイムライン
ポータルサイト

マルチ画面

水位監視・雨量監視に特化した情報の集約
■タイムラインレベルに応じた複数の防災・気象情報を一度に同時に見たい時に活用

⇒ 複数の（PC版では1画面で3つ）の防災・気象情報を同時に確認できます。

川の水位情報 (外部サイト)

対応の遅れを防ぐための水系全体における水文情報の集約

■ 千代川は洪水到達時間が短く急激な水位上昇が発生する恐れがあるため、上流域も含めて平面的な位置関係から出水状況を把握するのに活用

■ 千代川は洪水到達時間が短く急激な水位上昇が発生する恐れがあるため、上流域も含めて平面的な位置関係から出水状況を把握するのに活用

HPリンク集

防災行動に必要な様々な情報の集約

■ 防災行動に役立つ様々な情報を確認したい時に活用

防災行動に必要な様々な情報の集約

■防災行動に役立つ様々な情報を確認したい時に活用

表示時刻 2024年06月13日15時の実況 [最新の状況へ](#)

06月13日 15時

日本海

後志支庁 新十

各機関のホームページのURLが整理されています。

HPリンク集

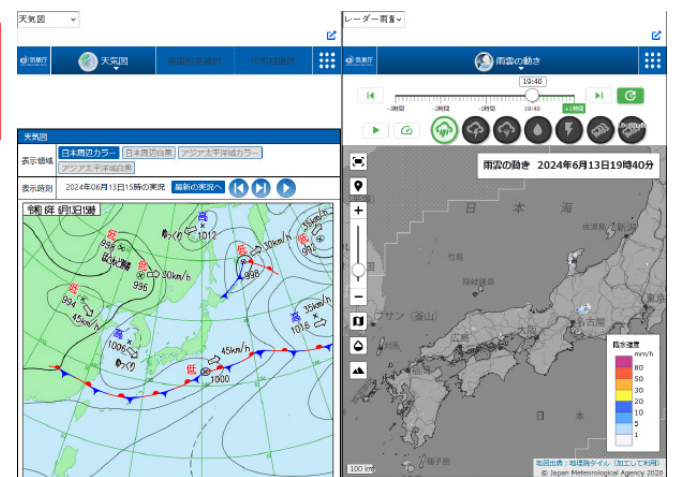
[illegible]

タイムライン
レベルを確認
できます

→

ポータルサイトQR

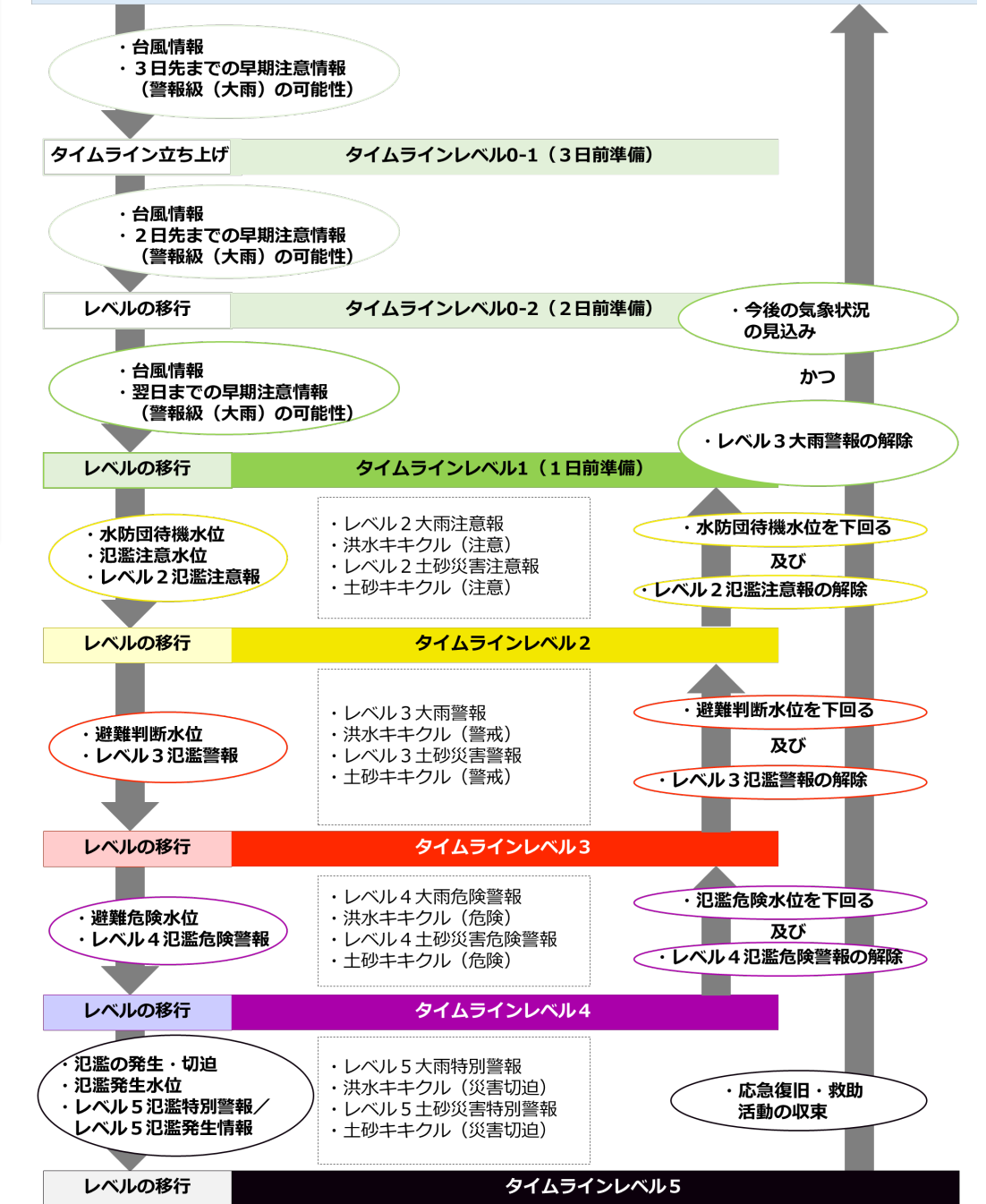
➡ 複数（PC版では1画面で3つ）の防災・気象情報を同時に確認できます。



▶ 水位グラフやCCTVカメラによる画像が確認できます。



詳細：①レベル立ち上げ、移行、引き下げのトリガーと流れ



○ 内の情報をトリガー情報としてタイムラインレベルを移行する。
 ※行徳、袋河原、用瀬及び宮ノ下水位観測所のうち、1箇所でも水位基準を超過した場合に移行する。
 □ 内の情報については、レベル移行の判断の目安となる情報として収集する。
 「指定河川洪水予報」は河川水位の上昇見通しに基づいて発表するため、タイムランレベルが1や2であっても、タイムラインレベル4へ移行する場合がある。

タイムライン立ち上げ

鳥取河川国道事務所が立ち上げ

タイムラインレベル移行

台風情報、早期注意情報(警報級(大雨)の可能性)、観測所の水位状況及び指定河川洪水予報をトリガー情報として、順次レベルを移行(引き上げ、引き下げ)。防災気象情報はレベル移行の判断の目安となる情報

タイムライン解除基準

- ①被害が発生しなかった場合
千代川流域の自治体に発表されていた全ての気象警報が解除され、全ての基準観測所で水防団待機水位を下回った時点で解除
 - ②被害が発生した場合
(レベル5に到達した場合)
応急復旧や救助活動の収束までレベル5を維持し、応急復旧や救助活動が収束した時点で解除